

物語を読んで、感想文を書こう。
めあて

書き方のくふうを見つけよう。

●感想文を書くための三つのコツ

コツ一 物語の内ようを読み取る。

コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。

●「やさしい心」の書き方の工夫

コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。

初め	中	終わり
本を読んだきっかけ	物語の内容 感じたことや考えたこと	自分の考え

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。

*むねがわくわくしてきた。

*元気が出てきた。

*強く思った。

*〇〇という気持ちわいてきた。

【6 / 9時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」⑥
本時のねらい

〔資料〕「やさしい心」を読ませ、書き方の工夫（構成の工夫や感想の言葉）に気付かせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。

○ 感想文を書くために、**コツ二** 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。こと、

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。ことを押さえる。

※ 提示物 **コツ二**・**コツ三** に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。

○ ワークシート⑥を配り、記名させる。

○ 本時は、〔資料〕「やさしい心」を感想文のモデルとして読み、書き方の工夫を見付けることを知らせる。

2 「やさしい心」を読み、書き方の工夫を見付ける。

○ 教科書五十五ページの手引きを読ませる。

○ 「やさしい心」を読ませ、「初め」「中」「終わり」にどんなことが書いてあるかを発表させ、まとめた内容をワークシート⑥に書かせる。

○ 「やさしい心」の中の「思ったことや感じたことを表す言葉」を見付け、ワークシート⑥に書き抜かせる。

※ **コツ三** については、教科書五十六ページ下段（感想を書くとき、使ってみよう言葉）、教科書（上）百三十二・百三十三ページを参考にさせましょう。

※ これらのページを印刷してラミネートし、いつでも使えるようにしておくとう便利です。

※ 書いたことを発表させる。

※ 教科書五十六ページの上段（書き出しの例）を読ませ、書き出しの工夫にも着目させます。

評価 感想文を読み、書き方の工夫を見付けようとしている。（関）

3 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

○ ワークシート⑥で自己評価をさせる。

○ 次時から二時間かけて感想文を書くことを伝え、ワークシート①で確かめさせる。